



富士川町

暮らしと自然が輝く 交流のまち

議会だより

第23号

平成28年1月25日発行

二十歳の誓い



峡南医療センターに融資をめぐる激論 2

組合議会報告 7

10人が町の課題を問う 8

夢に向かって 20

富士川町議会

検索



山梨県富士川町議会

円融資を決定

短期貸付：2億1500万円 長期貸付：1億5000万円

〔おもな補正予算〕

峡南医療センター運営負担（ 1 ）	1億3972万円
峡南医療センター貸付金（ 2 ）	3億6500万円
鵜沢口駅仮設トイレ設置負担金	111万円
警察官舎跡地購入・造成費（ 3 ）	2055万円
ふるさと納税返礼品費	608万円
北新町交差点舗装工事費（ 4 ）	2930万円
マイナンバー交付システム負担金	561万円
保育所広域入所負担金（ 5 ）	2008万円
橋梁長寿命化橋梁補修工事費	1110万円
青柳32号線用地調査業務費	700万円

- 1の負担金は地方交付税に算入された部分の支出である。
- 2のうち1億5000万円は長期(30年)貸付である。
- 3は新町民会館駐車場として使用するため隣地を購入する。
- 4はラウンドアバウト方式という信号機のない新方式の交差点になる。
- 5は新制度による保育所等の算定基準変更による増である。

平成27年12月議会を12月11日から18日まで開催し、27年度補正予算案、条例制定・改正案、指定管理者の指定など16件の議案を審議し、全て原案のとおり賛成多数で可決した。また、峡南医療センター融資については修正案1件、付帯決議案1件が提出され、活発に議論された。

問 北新町交差点舗装工事費が多額である。算出根拠は。

答 新方式（ラウンドアバウト）の交差点であり、特別な標識を設置するための費用が含まれている。

問 ふるさと納税はこれまでいくらかあったのか。

答 600万円は何に使ったのか。

問 11月末現在、2767件、1812万円納入があった。今回は返礼品19000件分を見込んで計上した。

問 橋梁長寿命化工事費減額の理由は。

答 補助金申請が満額にならなかった。本年は、12橋補強修繕工事をした。補助金が付き次第順次実施する。



信号なしの新方式交差点



改修中の鵜沢口駅舎

問 鵜沢口駅仮設トイレ負担金111万円が計上されている。市川三郷町との共同設置で半分の負担とあるが、来年、本トイレを作るとなっている。トイレは市川三郷町の行政区域になるが、その後の維持管理運営負担はどうなっているのか。

答 年間維持費を算出したあと両町で詰めていく。基本は半額負担。

問 青柳32号線道路用地調査業務費700万円減額の理由は。

答 当初、用地測量設計業務費を含めていた。開発計画が中止となり、用地測量分を減額し、道路測量だけになった。

3億6500万

融資にかかる 主な質疑答弁

改善計画はあるのか

問 改善計画案に2病院に求められる機能が記されているが、どのように改善するのかこれで財政支援するのか。

答 26年度に借りた7億3000万円の返済と、その後の運転資金が必要。そのため市川三郷町と3億6500万円ずつ貸付ける。そのうち1億5000万円は資金不足比率8・6%を解消するため長期貸付にした。病院が資金ショートを起こさないために計上した。

問 資金不足比率が10%を超えると借入れを行うには、県の許可が必要だが、許可があれば借りられるということではないのか。

答 10%を超えることはイエローカードで、しっかりと資金計画を出さなければ県知事の許可は出ない。

問 許可が簡単でなければ、企業団はしっかりと改善計

短期貸付：無利子で12月中に貸付
27年度返済

長期貸付：有利子で12月中に貸付
30年元利均等年賦で返済
元金は5年間据置き

画を出すのではないかと。

答 確かに改善計画の中に、資金不足解消の詳細があつてしかるべきだ。

資金管理計画は

問 短期融資に関する資金計画は。

答 短期部分は企業団が資金調達し、27年度内に返済するとなっている。

問 改善計画による資金管理計画はあるのか。

答 27年度までは中期計画で行っている。28年度からの計画は企業団がこれからつくり、その後、町に示される。

長期貸付は必要か

問 交付金は地方交付税分、短期貸付は今年度中に戻るので問題ない。問題は長期貸付の1億5000万円、町の短期貸付と交付税分で5億数千円になる。長期貸付をしなくても運営できるのではないかと。

答 長期貸付金は資金不足比率を下げるため、両町で3億円となる。この資金が回ることによって、資金不足比率8・6%が6・5%以下になる。これがないと27年度末に10%を超える心配がある。

問 27年度は赤字幅が3億円改善されて、4億円の赤字予測となっている。そんなに資

金不足比率は変わらないのではないかと。

長期貸付は年明けでも間に合うのではないかと。急いで貸付ける必要はないと思うが。

答 今、貸し付けなければ3月31日の決算に間に合わない。短期・長期を切り離して提案したものではない。

さらに金額が膨らむのでは

問 貸付金は、今回はやむを得ないとしても、これから度々繰り返されるのではないかと心配である。金額が膨らんでいくようになったとき、どの時点でどのように考え、判断するのか。

答 当分の間は繰り返すと思う。今回の改善計画でも32年度は1億円の赤字予測である。今回の貸付で資金不足比率が6・5%まで下がるので、今後はその年度で返ってくる短期貸付で対応できると思う。

問 今後、長期貸付はしないということか。

答 その通りであるが、両町の財政に影響のない範囲で資金援助することがあるかもしれない。自転車操業を繰り返している状況である。



峡南医療センター 市川三郷病院

の財政支援に対し討論

修正案

反対多数で否決

提案者：青柳 光仁

「提案理由」

企業団運営費を財政支援する貸付金中、長期貸付金の1億5千万円は、平成27年度末までの企業団の資金繰りが示されていないため、短期貸付が妥当か、長期貸付が妥当か判断できない現状にある。よって、同企業団から明確な資金運用計画が提出されるまでは、長期の貸付は控えるべきである。これが、この修正動議を提出する理由である。

採決結果

賛成

川口 正満、青柳 光仁
堀内 春美、長澤 健
斉藤 欽也

反対

小林有紀子、深澤 公雄
秋山 勇、鮫田 洋平
秋山 貢、市川 淳子
井上 光三、神田 智
小林 進

反対討論

井上光三
地域医療を守るため開設された公立病院である。平成26年度に赤字になった原因を分析し、経営改善計画を策定した。医療センター、富士川町、市川三郷町が一丸となって、病院の立て直しに取り組もうとしている。貸付という形で両町が財政支援することは、開設者である自治体の責任である。経営の危機に陥っている病院を支援をしないことは、病院がいらぬということになる。富士川町が支援しないことになれば、今後の経営改善計画の取り組みに大きな障害となる。

市川淳子
経営が大幅な赤字になっていることが分かった。病院側は今、その原因と対策を立てるために、現状分析を行っている。この間、病院側は資金不足の現状を町に訴え、資金支援をお願いしてきた。公的な病院として町は支援するべきである。長期貸付の1億5千万円は、一刻も早く貸し出すことが得策だと思つ。

賛成討論

長澤 健
この修正案は企業団から誰もが納得できる改善計画が出た時点で支援すると言っている。医療収益を上げなければ、今後も借金は雪だるま式に増えていくのは目に見える。町民の安心な暮らしを守るため病院は必要だ。しかし、長期融資により町の財政を圧迫し、町民へのサービスを低下させてはならない。今後、公共施設の再配置計画など、多くの財源が必要となる。来年度の決算でも貸付が続くなら、速やかに独立行政法人化を考えるべきだ。

斉藤欽也
この切迫した状況を知つたのは、11月中旬である。開設からわずか1年半の今日、運営資金が足りない。破綻する状況にある。町から融資する必要がある」との突然の提案に困惑している。改善計画が出されたのが平成27年12月、昨年の6月以降何をしてきたのか、企業団および町の姿勢に不信感を覚える。もっと議論が必要であり、町民への説明・理解も必要である。長期貸付については保留し、28年初頭に結論づけられよ。

峡南医療センター企業団

付帯決議

賛成多数で可決

提案者：秋山 貢

「主旨」

町の支援がなければ病院経営を継続することは困難だとし、3億6500万円の財政出動を決定した。このまま経営改善が進まず、今後も財政支援を続けていくとなれば、町の財政負担は際限なく広がり、財政の圧迫は必定で、町行政への影響が危惧される。

他方、町民が安心して暮らしていくには、医療と福祉の質の向上は必要であり、持続可能な経営を確保することが求められる。

さらなる経営改善の見直しと、地方独立行政法人方式への移行を積極的に検討する必要があると考える。町当局に対し、企業団へ緊急に経営改善施策を講じるよう要請することを求める。

採決結果

賛成

深澤 公雄、川口 正満
青柳 光仁、堀内 春美
鮫田 洋平、長澤 健
秋山 貢、斉藤 欽也

反対

小林有紀子、秋山 勇
市川 淳子、井上 光三
神田 智、小林 進

反対討論

小林 進

企業団自身による新たな経営計画を策定し、実現するため鋭意努力しているものと認識している。企業団による最大限の努力のもとで、一刻も早い経営の安定と黒字化を図ってほしい。

町では考えうる支援をすべてしている。あえて付帯決議を出す必要はない。

市川 淳子

付帯決議文の内容には異議がある。「富士川町議会として、峡南医療センター企業団の改善施策の見直しと、地方独立行政法人方式への移行について積極的に検討する必要がある」と考える」とされている。しかし、「地方独立行政法人方式への移行」については、全く何も議論がされていない。突然提案され、議決してしまふようなやり方に対し、どうしても違和感を抱える。

賛成討論

鮫田 洋平

医療の確保を実現するには、町長も新聞で「自立した病院を」と言っていたように、企業団自身に頑張ってもらい、町が財政支援することで改革が先送りにならないよう、改善施策を確実に実行し、今後は地方独立行政法人へ移行することも視野に入れ検討してほしい。

議会からも企業団議会へ5人の議員が行っている。町も議員と連携し、もっと積極的に助言することが必要だ。

深澤 公雄

医療界を取り巻く経営環境は人口減少や消費税が10%に上がることで、なお一層厳しくなる。また、国は病床が過剰だとし、山梨県では25%の削減を求める報告書を公表した。病床数を削減し在宅医療に移行することで、医療費の抑制を図る考えと思われ、ますます厳しい状況が予想される。医療センターは次世代に引き継がなくてはならない。改善計画の見直しは経営方式の移行も含め、積極的かつ早急に実施すべきと考える。

条例制定・条例改正

・ 個人番号の利用に関する条例の制定
 ・ マイナンバー制度の導入に伴う取り扱いに必要な措置を規定した

・ 行政組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例改正
 課の名称と所管の変更

書課、内部的なことは財務課とした。人事は定数管理もあり財政と密接である。

・ 印鑑条例の一部改正条例
 住民基本台帳カードを、個人番号カードに改める。

・ 町税条例の一部改正
 徴収金の猶予規定、入湯税の免除規定を整備した。

・ 公の施設の指定管理者の指定
 鯉沢デイサービスセンター
 社会福祉法人かじかの会
 (継続)
 かじかの湯

(株)ヒルネット(新規・東京都)

問 今回は指定管理者の選定評価基準60点をいずれも下回っている。指定管理期間は5年という長期である。管理者が辞めたいときはどうなるのか。

答 あってはならないが、契約条項に盛り込んでいく。

・ 字の変更
 山王土地区整理事業に伴う名称変更

・ 過疎地域自立促進計画の変更と追加

問 過疎地域自立促進計画に、峡南医療センター運営負担金を入れた理由は。

答 交付税分、約1億3000万円の運営負担金の一部に過疎債を使用するため。

・ 人権擁護委員の推薦
 再任
 大森きよ子氏(青柳町区)
 新任
 雨宮 俊夫氏(鯉沢中区)

・ 議会傍聴規定の一部変更
 「杖」の議場持込みを可能とした。

問 再編計画はいつから、どこで議論しまとめたのか。
 答 1年前から議論し、6月から具体的作業に入った。原案は総務課でつくり、行政連絡調整会議や政策会議で議論し策定した。
 問 情報化の推進と情報公開は分割しない方がよいのではないか。
 答 情報化の推進は庁舎内部のこと。個人情報管理や情報公開は文書管理の部分なので所管を分けた。
 問 人事は財務課でなく、町長直轄の部署に置くべきではないか。
 答 対外的なことは政策秘



4月から指定管理者が代わるかじかの湯

議会のおもな活動日誌

10月 3日	増穂小学校・鯉沢小学校運動会
5日	町村議会広報編集委員行政視察
9日	全員協議会、増穂商業高校の存続を考える特別委員会
10日	保育所連合運動会
11日	南小学校運動会
18日	第6回富士川体育祭(秋季大会)
20日	全国町村議会広報編集委員研修会(21日まで)
27日	議会改革特別委員会
11月 6日	議会運営協議会、町村議会議員研修会
8日	甲州富士川まつり、駅伝大会 国際交流協会ワールドグルメプラザ
11日	第59回町村議会議長全国大会
20日	全員協議会 峡南地域県立高等学校再編整備に関する要望
27日	議会運営委員会・全員協議会
30日	議会運営委員会
12月 3日	町村議会議長会、全員協議会

峡南医療センター企業団議会報告

第2回定例会を10月23日に開催した

補正予算案1件 決算認定案1件を全会一致で可決した。

平成26年度決算では、7億123万円の損失となった。当初計画より、収益が下回った主な原因は、基幹診療型と総合診療型への移行に遅れが生じ、機能分化・役割分担が進められなかった、統合までの時間が短かったことが挙げられる。本年度の経営状況は、4月～7月の時点で、昨年度より約3億2000万円の改善見込み。本年度は昨年度決算を改善すべく、改善計画を策定している。

峡南医療センター企業団補正額

(単位：円)

	補正額	計
収益的収入及び支出の補正		
・病院事業費用(医業費用)	525万	41億2361万
・介護老人保健施設事業費用	525万	9億4236万
資本的収入及び支出の補正		
・病院事業資本的収入(企業債)	620万	1億6220万
・病院事業資本的支出(建設改良費)	620万	1億8986万

平成26年度

峡南医療センター企業団の決算

(単位：円)

収益決算額	39億9463万
費用決算額	46億9585万
純損益金額	7億123万

(単位：円)

主な収益		主な費用			入院延べ患者数	外来延べ患者数
入院収益	127万	給与費	289万	市川三郷病院	9,806人	58,418人
外来収益	124万	材料費	66万	富士川病院	23,725人	60,243人
介護保険施設料	61万	経費	77万		入所者延べ数	通所者延べ数
		(給与費は全体の79.13%)		ケアセンターいちかわ	23,372人	2,152人
				サンビューふじかわ	33,681人	6,025人

資金不足比率 平成26年度 8.6% (経営健全化基準 20%)

当年度借入金 (一時借入金) 7億3000万円

改善計画(案)

*市川三郷病院 回復期・慢性期機能

一般病床90床から療養40床に変更

外来機能は、11診療科(泌尿器科及び透析はH28.8.1から富士川病院で実施)

手術機能は、富士川病院で実施

*富士川病院 急性期機能 一般病床111床、

158床から133床に変更

(地域包括病床18床、感染症病床4床)

外来機能は、28年度から9診療科、8月から10診療科

(泌尿器科及び透析を実施)

透析は3階病床を改修し、現状23床から7床増床

第1回臨時会(11月19日)

企業長の給与及び旅費について、全会一致で可決した

平成27年12月に支給する期末手当を7%カットとする。

一般質問

まちの課題を問う

問 動画で情報発信を

答 発信していく



さめた洋平 議員



「町の魅力」全国へ

問 HPやユーチューブでの動画配信が可能になった。行政案内や各課の施策、日常業務、各種手続きの仕方ゴミの出し方など多岐にわたって動画による案内をした方が、文章で案内するより分かりやすい。動画を作成し配信する考えは。

企画課長 動画による視覚情報は、内容を分かりやすく短時間で伝達することができ、効果的な広報手段である。ゴミの分別方法など

の行政情報や四季折々の観光情報など、文字情報とは別に動画で配信していきたい。
問 新たに作成する動画もCATVでの放送が可能か。
企画課長 可能である。

移住定住PR動画は

問 全国移住ナビの視聴ランキングで全国8位という結果を出してる。どのように施策に生かしていくのか。
企画課長 ふるさと納税者の拡大や空き家バンクの充実、宅地分譲の拡大など移住・定住に繋げていく。

問 新しく動画を作成し配信していく考えがあるか。もし制作するのであれば制作費を抑え、定住している人の声や、町の良さをもちと動画に入れて作成してほしいが。

企画課長 当面は現在の動画で町の魅力や施策の情報発信をしていく。新たに作る際には、町のPR効果も一層高まると思うので考慮して作成する。

サテライトオフィスの進ちよく状況は

問 昨年12月議会で導入に向け前向きな答弁をもらった。進展や現状は。

商工観光課長 8月に東京でサテライトオフィスの設置をPRし、HPで補助制度を紹介した。空き工場を含む空き店舗バンク制度の導入に向け、町内の施設を紹介し、今後の誘致に繋げたい。

先般策定した富士川町総合戦略の「安定した雇用の創出」においても、サテライトオフィスへの支援を具体的な施策として掲げており、これまで以上に助成制度や適地の情報を発信し誘致に繋げていきたい。

問 高速通信網の整備が絶対条件だが、町を網羅していない高速通信網の現状と整備方針は。

企画課長 未整備地区は中部・五開の2地区。町が行ったアンケート調査の結果、過半数の希望があった。財源確保を図りできるだけ早い時期に整備を進めていく。

問 膨らむ国民健康保険医療費は

答 ジェネリック医薬品(後発医薬品)を使用促進

秋山 勇 議員



問 本町の医療費の現状をどのように把握しているのか
町民生活課長 国民健康保険被保険者の高齢化、医療の高度化などに伴い、医療費は年々増加傾向にあり、平成26年度は約11億9、300万円。平成25年度と比較すると、5、300万円約5%増と高い伸び率となっている。

問 医療費が増えれば町財政を圧迫し、健康保険制度の維持が難しくなる。医療費削減に向けて町としての取組みは。
町民生活課長 医療費抑制対策としては、調剤費にか

かる費用が約2億円。ジェネリック医薬品の使用促進を図ることとし、医療費負担の軽減をお知らせすることにより、利用の普及に努めている。また、福祉保健課と連携し、特定健診デー



地域住民を対象とした禁煙教室

タを活用して予防教室などの保健事業を実施し、健康の保持促進を図り削減に努めている。
問 高齢者の医療費を抑える施策についての考えは。
福祉保健課長 65歳から74

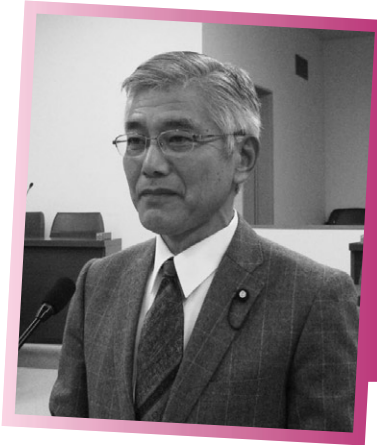
歳までの国保加入者の平成26年度の医療費支出額の上位は、がん・腎不全・高血圧性疾患の順となっている。
 特定健診やがん検診の受診を勧め、早期発見、早期治療に結びつけることが重要であり、町では健診結果から、運動教室や栄養相談、住民や小中学生を対象とした禁煙教室を実施している。高齢者に対しては、いきいき筋力教室などの運動教室・肺疾患・低栄養の予防につなげる口腔教室・多受診の抑制指導など、医療費抑制に努めていきたい。

問 総合戦略・雇用創出の積極推進を

答 年度ごとにPDCAで事業を検証

(計画・実行・評価・改善)

川口正満 議員



問 雇用を創出するために5年で事業所の従業員を20人増とは目標値が低い。単年度ごとに予算を配分し、地域の協力も必要で、優先すべき項目について年度の目標値を設けないか。

企画課長 施策は事業に対する優先度はない。年度ごとに重要業績評価指標で検証を行いPDCAサイクルを実施していく。

問 地域の活力向上には、町の魅力や地域資源に互いが共感し、まちづくりに参加できるかが試される。地域力創造交付金事業の目標が3件と低い。定住移住奨

励の5年間で50世帯目標では、地域ごとに心と力を合わせて目標を実行するよう、区長会にどのような要請や支援・助言を行い、協働の活動を具体化していくか。

企画課長 「地域資源を生かしたまちづくり」を基本の方針に挙げた。区民が取り組めるよう地域創造交付金を使い、地域と一体となつたまちづくりを推進していきたい。

鯉沢口駅トイレ建設費の負担は

問 JR東海にトイレ建設費を負担させて管理費は両町が負担するという方法で町の負担を少なくできないか。本トイレ建設予想費は。

町民生活課長 JR東海より、駅舎の建て替えに際し、防犯管理上トイレを設けない設置費用の一部負担も対応できないと回答があった。トイレ建設費は見積もりが出てから予算計上する。

問 身延線は地域にとり必要不可欠で、沿線市町と連

携して利用度を高めていくべきだ。赤字事業と聞いたが、深刻な経営状況を把握しているか。

町民生活課長 鯉沢口駅の乗車人数は、26年度約5万2千人で、必要性も高い。経営状況は把握していない。

リニア事業計画の再提出要求は

問 計画はずさんで信頼性

がなく、「重要な事実の基礎を欠いて」大赤字が予想される。行政は明らかにする責任と義務がある。国の将来を揺るがすので、国会自体は信頼できる計画を要求し、JR東海は国に対して新しい事業計画を提出するべきだ。町長の見解は。

町長 国家的事業であり、町がどうこうするつもりや必要もないと考える。



奪われる日照権(リニア実験線・笛吹市内)

問 富士川町総合戦略の取り組みは

答 基本目標が達成できる事業を展開

深澤公雄 議員



問 本年10月に策定された富士川町人口ビジョン、総合戦略の4つの基本目標において、具体的にどのような事業を検討するのか。

企画課長 「富士川町における安定した雇用を創出する」では、経営サポート事業や特産品の販路拡大の支援事業を考えている。「富士川町への新しいひとの流れをつくる」では、定住者支援事業、西之入団地宅地分譲事業を考えている。「富士川町で若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」では、婚活支援事業、地域交流事業を考えている。「富士川

町」の時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」では、峡南地域観光連携事業、国土強靱化地域計画の策定を考えている。

問 それぞれの実行計画はどのように実践するのか。

企画課長 事業ごとに達成すべき数値目標、重要業績評価指標を設定し、

P D C Aサイクルのもとに実施した施策事業の効果を検証していく。

婚活事業は

問 婚活事業はどのように研究し、具体化するのか。

企画課長 婚活イベントが必ずしも定住人口の増加に結びついていないので、町

人口ビジョン・総合戦略の基本目標

以下の4つを基本目標として、各種取り組みを推進します

- ① 富士川町における安定した雇用を創出する
- ② 富士川町への新しいひとの流れをつくる
- ③ 富士川町で若い世代の結婚・出産・子育て希望を叶える
- ④ 富士川町の時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【総合戦略】町のホームページにアップ

内への定住を促せるような企画を考えている。また、婚活事業は一朝一夕では成果は出にくいので、年間を通じて開催するなど継続的に事業を実施していく。

町内三筋の観光連携は

問 新しいひとの流れをつくらうとする五開筋をはじめ、町内三筋の観光連携の取り組みは。

商工観光課 三筋の特徴を生かした新しい流れをつくるため、平林地区では「陶芸家や写真愛好家などの芸術文化の村づくり」、穂積地区では「ゆずの特産品を中心とした地域づくり」、五開地区では「大柳川渓谷や温泉を利用した健康と癒やしの里づくり」を進める。さらに、三筋を有機的に連携させる「周遊ツアーの企画」「新たな散策ルートの設置」や、三筋が連携するイベントを企画し、相互連携した観光客の誘導に取り組んでいく。

問 町出身医大生に町独自の奨学金を

答 県の奨学金制度の利用を

堀内春美 議員



問 現在、富士川病院に医師の派遣がなく、さらに山梨県の研修医が激減している状況だ。富士川病院の医師を確保するため、富士川町から医大へ進学している学生が、将来、富士川病院へ勤務してもらうため、町独自の奨学金制度を設けたらどうか。

福祉保健課長 県に山梨県医師修学資金貸与制度が設けてあるので、その制度を利用してもらいたい。

問 県以外に町独自で医師養成が考えられないか。

町長 県外でも山梨県の医師修学資金貸与制度が使え

るので、医師免許を取ると自分の意志で勤務先を選択する。貸与者どおりに確保できない。

問 近所に医大で学んでいる学生がいる。母親も将来富士川病院で勤務することを望んでいた。富士川病院で町内の先生に町内の患者を診てもらうことは、お互いに良いことではないか。確保する意味で提案したのだが、いかがか。

町長 医大を卒業したら、本人の意思で富士川病院を希望していただきたい。

一人暮らしの高齢者宅見守り体制は

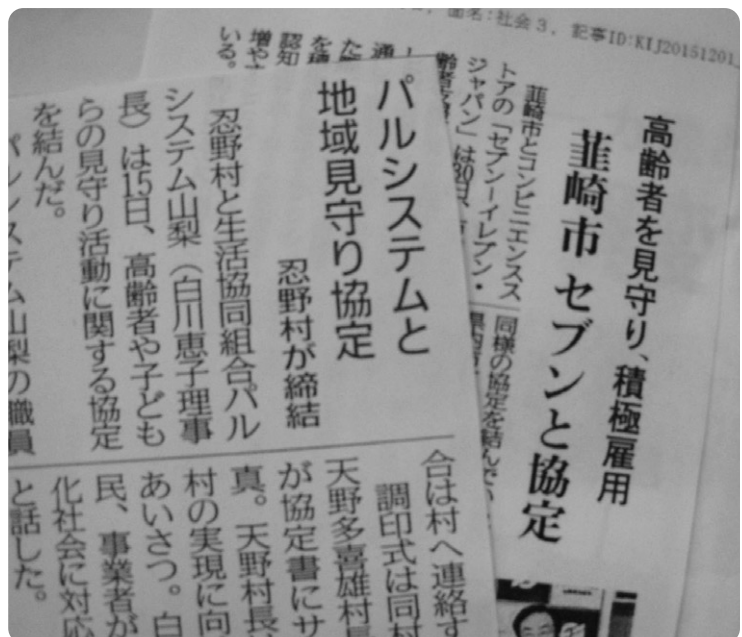
問 去年の9月議会で、2件続けて青柳地区で起きた高齢者の孤独死について、こういう悲惨なことがないよう、新聞店や牛乳店と協定して見守り体制を作つたらと提案したところ、検討するとの答弁があった。今年5月、今度は最勝寺区で高齢者の孤独死が発見されたが、町では把握していな

かった。6月議会で再度見守り体制を質問したが、いろいろな面から努力するということだが、その後の進捗よく状況は。

福祉保健課長 新聞店、牛乳店には業務を通しての見守りを協力依頼した。

問 協力依頼を締結したのか。

福祉保健課長 締結はしていない。連絡をお願いしたが、依頼したのと、締結し



地域見守り協定締結の早期実現を

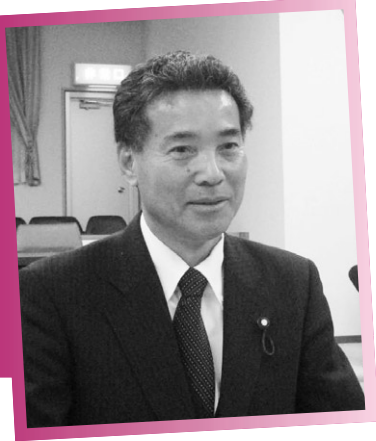
たのでは重みが違う。他の市町村では独自に生協やコンビニと締結している。他の町でできて、なぜ富士川町ではできないのか。この質問をしてから1年3カ月経過しているが、遅々として進んでいない。早急に進めるべきだ。

福祉保健課長 進めていきたいと思う。

問 学校給食費の公会計化を

答 給食センター化 できれば公会計化する

秋山 貢 議員



問 県内の町村（14町村）で学校給食費を私会計で実施しているのは、富士川町だけである。学校側からは、何年も前から公会計化を望む声を聴いている。実施する考えがあるのか。

教育長 公会計処理を行っている町村の給食施設では、給食センターなど共同調理場での処理がなされ、給食専任担当がいる。給食メニューと給食費が小・中学校ごとに統一されており、会計処理も軽減が図られている。一方、本町では鯉沢小中学校では共同処理されているものの、小中学校の給食費

の違いや、他の学校では自校方式となっていることから、学校ごとに設定されている。今後、給食施設のあり方を検討し、センター化が可能であれば、給食費を公会計化する。



公会計化が望まれる学校給食費（鯉沢小給食調理室）

問 身延町では1食当たりの単価は同じでも、学年により単価は変動する。市川三郷町では、給食センターごとに1食当たりの単価が違っているので、単価も違う。すべての児童・生徒が一律の給食費ではない。それでも、身延町も市川三郷町も公会計で対応している。

市川三郷町では、給食会計を1人の正職員と1人の臨時職員で対応している。富士川町でも市川三郷町と同規模の給食会計と思われるので、同じ人数の職員配置で公会計化できるのではないか。

教育長 給食施設の検討会を含めた中で、公会計化について検討したい。

問 富士川町では、給食費の一部補助制度を実施している。町全体では764人の小学生がいる。この内413人が町から補助金など給食費の支援を受けている。中学生は町全体で、410人いる。この内190人が支援を受けている。既に町は、

大勢の児童・生徒の給食会計に直接的にかかわっている。公会計化することで、保護者の申し出により、児童手当からの天引きもできるのでは。

教育長 今後検討する。

問 何よりも大切なことは、事務負担の軽減による教育時間の確保が考えられる。子どもたちに接する時間を増やすことにつながると考えるが。

教育長 今後の進め方について検討する。

- 他の質問事項
- ・ ますほ文化ホールの指定
 - ・ 管理者制度導入は
 - ・ 峡南医療センター企業団への融資は
 - 他4件

問 峡南医療センターの赤字をどう考えるか

答 改善計画を着実に実行し 早期改善を望む

青柳光仁 議員



問 峡南医療センター企業団の平成26年度決算で約7億円の赤字だが、改善計画の実現を町長はどう考えるか。

町長 今後5カ年の改善計画が示され、機能分化など着実に計画を実行し、早期改善をしてほしいと考える。

問 開設者としてこれまでのような提言をし、今後どのような指導提言をしていくのか。

町長 適切な運用のため、開設者会議で地域の救急医療の受け入れや職員の意識改革により、地域完結型医療を目指して提言してきた。今回の資金不足は早期に改

善が図られるよう会議で提言していく。

問 企業団への財政支援の額や内容を、町民に具体的に説明し理解を得る責任があるのでは。

町長 議会の議決後、貸付金の内容は町の広報誌で説明し、企業団の改善計画は



峡南医療センター富士川病院

峡南医療センターだよりで周知する。

問 12月3日の山梨日日新聞の談話で「早急に改善計画を出してもらい、自立した病院になってほしい」とした。私もその通りと考えるが、貸付金を補正提案した時点では改善計画が出て

いない。おかしいではないか。

町長 28年度の改善計画と26年度の借入や資金不足は別物である。

問 財政支援は今回限りか。議会から否決された場合、どう対応する考えか。

町長 今後も資金ショートしないように支援し、資本の充実も検討する。提案を否決された場合、企業団は破綻する。

水害の防災体制について

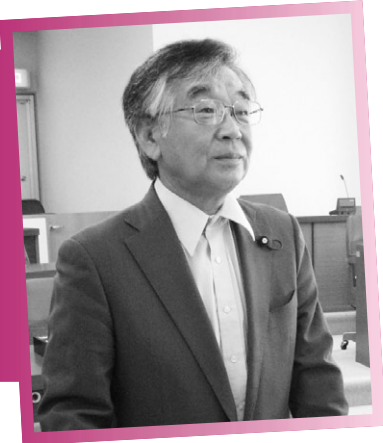
問 排水機場の管理は農林振興課と防災課に分かれているが、一元化すべきではないか。

防災課長 明年4月から一元化する。

問 町民への説明責任を果たせ

答 必要があれば説明する

齊藤 欽也 議員



問 峡南医療センターの決算が、24年当時の各地区住民説明会の内容と乖離したのなぜか。

町長 7億122万円の赤字となったのは、入院収益が大幅に減ったことや、両病院の機能分化・医療資源の有効活用ができなかったためである。

問 病院経営に乗り出す時町民に説明した経緯を踏まえれば、説明する必要があるのでは。

町長 説明するため地区説明会を行うことはやぶさかではない。峡南医療センターの改善計画と共に説明する。

問 後藤知事が峡南医療センター発足に深く関わってきた。もっと県に支援協力を求めるべきだ。

町長 その通りである。当時「買い取るべきだ」と言っていた。当然町にも責任があるが、県や医大にも責任がある。

問 今回の改善計画を、着実に実行してもらいたいとのことだが、開設時も同様の話があった。28年度から約3万9千人の入院患者が1万人増える。病床利用率が80%になる。信じがたい



開設から1年

数字だが。
町長 その通りいくかどうか分からないが、医療資源を集約していく計画である。

職員定数の削減は

問 合併のメリットである職員数削減が、6年経っても進んでいないが。

総務課長 188人から171人と削減し、目標は達成している。

問 臨時・嘱託職員の合計は107人から125人と増えているが。

総務課長 職員全体では、292人から296人で、大幅に増えていない。

問 増えてもいないが、減ってもいいのでは。

町長 嘱託・臨時職員には保育士も含まれ増減がある。一般行政事務で増えることはない。

児童センターの移転先は

問 児童センターは新たに土地購入をせず、グラウンド跡地に移転すべきでは。

町長 検討はするが無理である。現在地近くで面積の確保できる所にする。

人口ビジョン・総合戦略は

問 今の行政規模の維持を前提とした、目標1万6千人は無理がある。自然減を踏まえたコンパクト行政の視点があってもよいのでは。
町長 みんなの努力目標である。町も大きな拠点、小さな拠点づくりを考える。

問 生ごみ削減対策にコンポスト試験導入を

答 アンケート調査中 できることを考える

市川 淳子 議員



問 富士川町の「ごみ処理基本計画」の中には、平成18年度から平成22年度までの家庭排出ごみ1人1日の量の推移が示されている。その後の状況はどうか。

町民生活課長 平成22年度の家庭ごみ1人1日ごみ排出量は554・24g、平成25年度は約549gで減少傾向である。

問 この計画書では平成18年度は597・64gで、平成25年度と比較すると48・64gも減少している。かなりの成果を上げていると思うが、この減少傾向の要因は何か。

町民生活課長 町が長期に取り組んでいるごみの分別リサイクルステーションの設置による資源ごみの回収、また、リユース食器の町と住民と協賛企業の協力などによる、利用負担無料化の利用促進活動など考えられる。

問 志村町長は、環境政策としてリサイクルステーションの設置を積極的に行い、各区も協力的に設置場所を



生ごみを資源ごみに(コンポスト)

提供してきた。その結果、富士川町民は資源ごみへの分別意識が格段に高まり、可燃ごみ量の削減に繋がった。良い政策が住民意識を良い方向に変えていったと思う。次の課題は生ごみである。家庭ごみ排出量の80%以上は可燃ごみであり、中でも生ごみは40%以上を占める。食品の生ごみは資源化が可能である。町はコンポスト

を試験導入し、生ごみ削減を積極的に考えていくべきだが。

町民生活課長 現在、生ごみなどに関するアンケート調査を実施している。調査結果をみて、コンポストなどいろいろ使っている先進地域などの検証を行い、対策を考えたい。

障がい児医療費窓口無料化を

問 富士川町は子育て支援の充実を政策に掲げ、県内でも先駆けて18歳までの医療費窓口無料化を実施している。子育て支援の「格差」をなくす観点から、重度心身障がい者の18歳までの子どもたちを、同じように医療費窓口無料化にするべきと考えるが。

町長 県は明年度を目的に、重度心身障がい者医療費助成制度を、一定年齢まで窓口無料化する方向で検討に入った。県の判断に合わせ、窓口無料化を実施していきたい。

問 引きこもりや子どもの貧困対策は

答 就労支援や学習支援を進める

小林有紀子 議員



問 引きこもりを抱える親が高齢化し、子どもが社会復帰できない、または不就労が続くことで、生活困窮に至ることも予想される。町の引きこもりの実態と対策は。

福祉保健課長 該当者は31人。民生委員への協力依頼や保健師などの訪問、関係支援機関へ紹介する。

問 就労支援に繋げるような対策を、早急に進めるべきと考えるが。

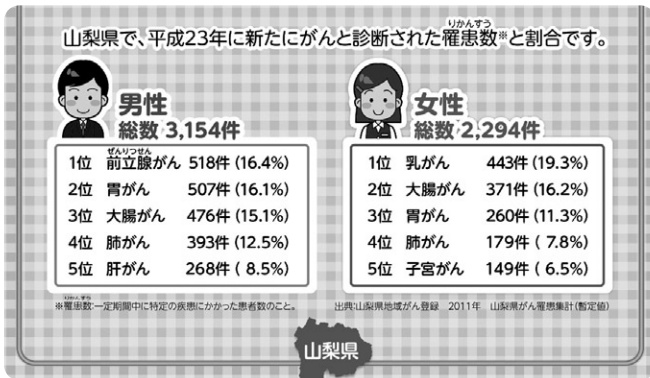
福祉保健課長 今後、相談業務を続けながら努力する。

問 貧困による経済格差は、子どもの教育格差にも繋がる。

子どもの貧困実態調査と対策は。

子育て支援課長 生活困窮者自立支援法により、困窮家庭の実態を把握し支援事業を進めている。あらためて実態調査は必要ない。

問 子どもの貧困に繋がる恐れのある要支援者を、早期発見し支援に繋げていくため、考えられる調査を全て行っていたらきたい。さらに、子どもの学習支援に対する考えは。



がん検診を受けましょう
(山梨県統計資料より)

福祉保健課長 昨年7月から月2回「学力向上フオーアップ事業」を実施。今後も適切な学習支援ができるよう取り組む。

子宮頸がん検診の方法は

問 死亡原因の第1位は、がんである。子宮頸がん検診の細胞診の検査は、がんの発見率が高いが、前がん病変の発見は、約30%の見過としいがある。がんの原因

とされる(HPV)ウイルスの検査を併用すると、病変の見落としがほぼなくなり、治療のために子宮を手術で失うことを防ぐことになる。「HPV検査」の導入の考えは。

福祉保健課長 平成25年度から、5年間の計画実施をしている。

問 子宮頸がんは、20代や30代の若年層で増加傾向にある。「HPV検査」の併用検診の継続を要望する。さらに小中学校における「がん教育」の考えは。

教育総務課長 県が作成したリーフレットで、学習や禁煙に関する出前講座を実施。本年度は躰小で、子どもが親にがん検診を勧める事業を計画。

問 がんの経験者や専門家から話を聞く授業も実施すべきと考えるが。

教育総務課長 関係課と相談し、授業内容の検討を進めたい。

他の質問事項
・認知症対策は

組合議会報告

平成26年度
決算

峡南広域行政組合

10月21日、峡南広域行政組合議会定例議会が開催され、26年度決算認定3件、専決処分承認1件などが原案どおり可決された。

決算認定の概要は下表のとおり、専決処分は、27年度補正予算で光ケーブル移設工事費用が補正された。

また、追加案件として、議長・副議長辞職に伴い、議長に小林進（富士川町）、副議長に遠藤光宣（南部町）が選任された。なお、常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任も行われた。



峡南広域行政組計算センター

平成26年度決算総括表

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	19億0463万円	3億2950万円
介護保険特別会計	2億3892万円	0万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	3468万円	0万円
合計	21億7823万円	3億2950万円

国中6町議会議員研修会を開催



講演会の様子(道の駅富士川水防対策室)

議会間の横のつながりを図るため、第1回議員研修会を10月30日に富士川町で開催した。1回目の会として、後藤斎知事を招き県政報告と新しい県土づくりへの講演会と意見交換を活発に行った。

このような広域的な議員間の研修会は初めての試みであり、互いの連携を図り、広域的な課題に対応するためにも定期的に行うこととした。

広報常任委員研修

10月20日～21日、東京で行われた町村議会広報研修会に委員全員で参加し、分かりやすい広報編集の基本を研修した。



スマートフォン用アプリ「i広報紙」が利用できるようになりました

富士川町から最新の情報を発信！

富士川町議会では、議会だよりをより多くの方に手軽に読んでいただける新しい情報発信手法として、株式会社ホープで運営する電子広報紙配信プラットフォーム「i広報紙」を導入しました。

「i広報紙」とは、アプリをダウンロードすることで、スマートフォンなどから、富士川町議会だよりを読むことができます。いつでもどこでも、アプリで広報紙を読むことができますので、ぜひダウンロードしてご利用ください。



「i広報紙」の主な機能

アプリから、いつでもどこでも「富士川町議会だより」を閲覧できます。最新号の議会だよりが発行されると、アプリにお知らせが届きます。

ページめくり、拡大縮小なども簡単にでき、必要な記事はスクラップ機能として画像を保存することができます。

「i広報紙」のダウンロード方法

iOS版 (iphone、ipad、ipodtouch)

1. AppStoreにて「i広報紙」と検索してダウンロード
2. インストール 簡単な個人設定 使用開始
3. お住まいの地域が富士川町以外の方は、「その他>個人設定」の「気になる地域」から「富士川町議会だより」を選択

Android版

1. Googleplayにて「i広報紙」と検索してダウンロード
2. インストール 簡単な個人設定 使用開始
3. お住まいの地域が富士川町以外の方は、「その他>個人設定」の「気になる地域」から「富士川町議会だより」を選択

広告表示について

このアプリケーションは、広告代理店・株式会社ホープ（福岡市中央区）が作成したものです。

今後、i広報紙を利用して議会だよりを閲覧した時に、広告が表示されることがありますが、その内容に富士川町議会は一切責任を負いません。

訂正とお詫び

「議会だより第22号」の4ページ中、民生費12万3489円とあるのは13万7468円の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

鷹座巢鼓組

鷹座巢鼓組は「まほらの郷鷹座巢小林八幡太鼓」を母体とするジュニアチームです。

平成11年に青少年健全育成と地域活性化を目的に「小林和太鼓愛好会」として発足。平成18年に現在の「まほらの郷鷹座巢小林八幡太鼓」に改名し、同時期に「鷹座巢鼓組」が誕生しました。

鷹座巢山に見守られた私たちの町、富士川町をまほらの郷(理想郷)と思い、太鼓の和を大切に、活動していこうという願いを込めて命名されました。

現在地域の行事、町内のイベントやお祭りなどで演奏しています。また、平成25年の山梨国民文化祭に引き続き、平成26年には秋田県で行われた国民文化祭に出演し、全国のすばらしい和太鼓の演奏に触れることができました。これからも地域の皆さんに支えられ活動できることに感謝し、人の輪のつながりを大切にして、チーム一丸となって打ち込んでいきたいと思えます。
まほらの郷鷹座巢小林八幡太鼓 代表 深澤 俊司



夢に向かって...



メンバーの声

私たち鷹座巢鼓組は、幅広い年齢のおよそ20人のメンバーで構成されています。結成当初は人数が少なかったのですが、本会の十周年記念講演をきっかけに、メンバーがとても増えました。年齢に関わらずとても仲が良く、週2回の練習の中で、チーム全体の技術向上を目指し、教え合いながら一生懸命取り組んでいます。

昨年11月に行われた山梨県太鼓ジュニアコンクール県予選で、私たちは山梨県の代表として全国大会出場への切符を手にすることができました。鼓組らしい演奏をし、より良いものをつくることを目標に、一人ひとりが意識を高く持ち練習に励んでいます。
井上 知香

議会クイズ

- 問題1. 北新町交差点に建設中の交差点方式は？
- 問題2. 議会傍聴規定で、議場に持ち込みが可能になった物は？
- 問題3. 国中6町議会議員研修会を行なった会場は？

前回の答え

- (1) 高濃度984.3kl
低濃度1700.4kl
- (2) 約49万 (3) 80万

《景 品》 抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。

《応募要領》 必要事項を記入の上、ハガキかメールにて応募ください。

- ・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
- ・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

《宛 て 先》 〒400-0592 富士川町天神中條1134
富士川町議会事務局 行
Mail : gikai@town.fujikawa.lg.jp

《締め切り》 平成28年2月末日(当日消印有効)

《当選者の発表》 景品の発送をもって当選と代えさせていただきます。